

ふうみ通信

～ 第 44 号 ～
令和7年11月発行
認知症対応型共同生活介護
ラヴィータ・ドゥーエ
小規模多機能型居宅介護
ラヴィータ・トレ
4-0012 大阪市此花区西九条2-15-6
06-6147-8070 FAX06-6147-8071
<http://lavita-syafuku.com>



まずはどこに相談に行けばいいのか分
からない方がお近くにいらっしゃれば、施設入所だ
私たちに相談いただければ、
けでなく、その方に合った在宅サービス
もご紹介いたしますので、ご一報ください
い。

いろいろアドバイスをし、また困つたことがあれば直接連絡してもらうように伝え、その日は帰路につきました。

その後、連絡もなく「便りが無いのがいい知らせ」と思っていますが、大阪府内とはいえ、そこそこ離れている私に相談しに来るほど、介護がまだまだ身近な存在になつていな事を実感しました。

設はないのか?という話です。私からすると病院のソーシャルワーカーに相談したり、近くの包括支援センターや市役所の介護課に相談に行けばいいのではないかと思うのですが、友人含めてその発想が出てこなかつたようです。

私事なのですが、7月頃に地元（茨木市）の友人から「介護の事で困つて、いる知人がいるから話を聞いて欲しいんやけど…」と連絡があり、地元で飲食店をしている友人の店で会いました。

端的に言いますと、一人暮らしの母親が大腿骨を骨折し、入院。自宅で一人暮らし

猛暑が過ぎ、秋らしくなつた今日この頃ですが、皆さまいかがお過ごしでしようか。

三
二
一
三
二
一

三
一
三
一

食欲をそそりました。暑さを和らげるための、冷たい冷やしきゅうり、カラフルで甘いかき氷は、皆の大好物となりました。

食べ物を楽しんだ後、皆で昔ながらのゲームに参加しました。千本引き、輪投げ、ボーリング、魚釣りのコロナ

な喜びと励ましをもたらしました。最後に挑戦と笑いに満ちたスイカ割りで大いに盛り上がりました。皆さんの掛け声や指示でスイカが割れたとき、皆さんのがんばりの顔に喜びの表情がはつきりと浮かびました。みんなで甘く冷たいスイカを味わ

今年の夏、私はラヴィータで開催された夏祭りの中で、非常に思い出深い経験をしました。外の蒸し暑さとは違い、フロアの中は涼しく、笑い声と会話で賑わっていました。広々としたメインフロアと廊下を利用して、活気あふれるミニチエアのお祭り会場が作られていきました。屋台の食べ物やゲームは、とてもきれいに配置されていました。そして伝統的な料理から漂う魅惑的な香りが、すぐに皆さんのが覺を目覚めさせました。



長寿を祝う会



かね昼食の時間です。事前に選んでいただいた仕出しのお弁当を広げ、皆さんご満悦の表情で「美味しいわー」と、とても喜んで下さいました。

午後からはご家族様も来所され、和やかな雰囲気の中式典が始まり、「ご長寿【横綱】【大関】の方々への表彰やスライドショー投影が行われました。そんな折、スクリーンに映し出される利用者様の笑顔を見ながら、ふと「これからもこの笑顔を守り、支えていきたいな。」もつともつと頑張ろう。」と思う自分がいました。

図らずも自身の想いを強める良い時間となりました。人生の大先輩である皆さん、穩やかで幸せな日々を送れますようにと願つて止まない初秋の一日でした。



